

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	3:安全・安心・快適に暮らせるまち
施策の大綱【政策】	1:災害に強く安全・安心なまちづくり
分野	16:防災
具体的な施策【施策】	36:防災意識の高揚
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合防災訓練では、災害による被害を最小限に抑えるため、防災関係機関が適切な役割分担と相互に連携協力した実効性ある対応方を確認するとともに、住民参加型防災訓練では、地域住民が気軽に参加できる訓練（体験型訓練）の充実を図ります。 ・ 自主防災組織については、継続して活動できるよう支援の充実を図ります。

1	担当課かい名	総務企画部_危機管理課
	現状（進捗状況）	総合防災訓練について、令和元年度同様の内容で令和2年度も実施予定であったが、コロナ禍により中止した。令和3年度については令和2年7月豪雨災害を受け、訓練の内容に消防団の活動を増やし実施する予定。住民参加型訓練についても同様に令和2年度はコロナ禍で実施できなかった。令和3年度訓練内容としてはコロナ禍に対応するような避難所開設訓練を実施予定。（令和元年度総合防災訓練他実施）
	施策の進捗度	B（やや進捗が遅れている）
	課題	平成30年から令和3年までの間、台風等の気象条件や、コロナ禍及び令和2年7月豪雨災害の影響で、総合防災訓練や住民参加型訓練等の実施が困難であった。 各地区の自主防災組織において活動がなされない組織が見られる。そのような組織に訓練や出前講座の働きかけを行い防災意識の高揚を図る。
	第2期計画の方向性	総合防災訓練については、展示型訓練や図上訓練、情報伝達訓練等あらゆる方法を検討する。住民参加型訓練について参加校区を増やすことを進める。自主防災組織の訓練や出前講座等の実施を働きかけそれぞれの方法で防災意識の高揚を図る。
備考・コメント		

2	担当課かい名	市民環境部_市民活動政策課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国防を担う自衛隊入隊者数の確保のため、自衛隊法に則り自衛官及び自衛官候補生の募集に関する事務の一部を行った。 ・ 対象者へのDM発送業務及び広報やつしろやホームページを活用した募集に関する周知を実施した。
	施策の進捗度	B（やや進捗が遅れている）
	課題	・ 自衛隊八代出張所との広報活動における情報共有と連携強化が必要である。
	第2期計画の方向性	自衛官及び自衛官候補生の確保のため、市報やホームページ等を活用した募集に関する広報活動の充実を図る。
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	3:安全・安心・快適に暮らせるまち
施策の大綱【政策】	1:災害に強く安全・安心なまちづくり
分野	16:防災
具体的な施策【施策】	37:防災基盤・体制の充実
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年熊本地震をはじめとする各種災害を教訓とし、「八代市地域防災計画」を現状に即して見直すとともに、緊急時における避難所の充実と、地域住民と一体となった避難所運営体制を目指します。 ・高齢者・障がい者などの、災害発生時などにおいて自ら避難することが困難な者に対する、平常時からの支援体制の整備を図ります。 ・防災行政無線については、新庁舎の防災機能充実と併せて総合的な見直しを行い、再整備に取り組みます。 ・自主防災組織や地元消防団など、地元住民の協力体制を構築し、避難所の自主運営に取り組みます。

1	担当課かい名	総務企画部_危機管理課
	現状（進捗状況）	避難所を災害種別ごとに設定し、職員の配置を見直したことで避難者の安全確保と支援体制の充実を図った。また、要支援者（高齢者や障がい者）名簿の更新や関係機関への提供により、災害弱者への支援体制の強化に努め、防災マップの作成やWeb版ハザードマップの公開など、逃げ遅れゼロに向けた積極的な情報提供を行った。災害時用備蓄資材についても飲料水他購入を行った。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	コロナ禍による自主防災組織の活動低下等に起因して、組織結成率が低下した。令和2年7月豪雨の災害対応における検証結果により、各災害対応マニュアルの更新や策定、民間事業者等との連携、資機材の調達など、新たな課題に対する方向性が明らかとなり、その対応が必要となった。
	第2期計画の方向性	「逃げ遅れゼロ」実現のため、自助、共助の核となる自主防災組織の活性化及び防災士の活用・育成を行い、地域住民による災害予防や災害対応への意識を転換する。また、令和2年7月豪雨の検証結果を各対策部で共有し、課題への対策を具現化する。災害時備蓄資材の確保について備蓄計画を作成し計画的に整備を進める。
備考・コメント		

2	担当課かい名	総務企画部_復興推進課
	現状（進捗状況）	令和2年7月豪雨により被災した坂本町の住民が、生活の再建に向けて一日も早く落ち着いた生活を取り戻すことを第一に、災害からの復旧はもとより、将来にわたって安全・安心で快適に暮らせるまちづくりに向け「創造的復興」を進めて行くことを目的として、令和3年2月末に「八代市坂本町復興計画」を策定。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	今後、被災した坂本町の復興を推進するため、まちづくりの方向性を示す「坂本町復興まちづくり計画」を8地区ごとに策定する。また、坂本支所周辺のまちづくりを進めるにあたり、県道や被災した坂本橋の復旧を含めた、現位置付近一帯での一体的なまちづくりへ向けた検討や、被災された皆様方の住まい再建へ向けた災害公営住宅の整備を進める。引き続き、関係各課と連携を図り、安全・安心で快適に暮らせるまちづくりを進める。
	第2期計画の方向性	引き続き、坂本町の令和2年7月豪雨被害からの復旧・復興を推進し、将来にわたって安全・安心で快適に暮らせるまちづくりに向け「創造的復興」を進める。
備考・コメント		

3	担当課かい名	健康福祉部_健康福祉政策課
	現状（進捗状況）	避難行動要支援者が非常時に円滑に避難できるよう避難支援体制の構築に努めた。また、令和2年7月豪雨において、被害を受けた被災者を支援するため、災害ボランティアセンターを開設し、被災者の生活再建を支援した。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	避難行動要支援者の名簿提供同意割合の向上を図り、避難支援等関係者へ名簿情報を提供し、非常時の迅速な避難行動支援につなげる必要がある。
	第2期計画の方向性	避難行動要支援者制度の周知を継続して実施し、避難支援等関係者や地域住民の理解や認識を高め、要支援者の支援体制の整備を図る。
備考・コメント		

4	担当課かい名	健康福祉部_長寿支援課
	現状（進捗状況）	7月～10月 福祉避難所及び一般避難所への備品の貸与（令和2年7月豪雨） 2月 福祉避難所備蓄備品点検
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	福祉避難所に備蓄している備品は、平成23年度に備蓄したものであり、経年劣化が進んでいる。 また、簡易ベッドや車いすは介護用ではなく、あくまでも緊急用であり、長期間の福祉避難所での避難生活での使用に耐えられる物ではない。今後は、備品の入替えが必要である。
	第2期計画の方向性	福祉避難所での一定期間の使用を考慮し、簡易ベッドや車いす等の備品を複数年での導入計画を立て順次入替えを進めていく。
備考・コメント		

5	担当課かい名	建設部_建設政策課
	現状（進捗状況）	平成28年熊本地震により発生した宅地被害において、早期の宅地復旧と被災者の負担軽減を図るため、平成29年度より「熊本地震復興基金」を活用し、個人施工の復旧工事等に対する費用の一部を支援してきた。また、個人名義の私道の復旧についても同様の支援を行ってきた。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	災害復旧等による人材・資材不足等の理由により個人施工の復旧工事が遅れるケースがあった。
	第2期計画の方向性	本事業は、熊本地震から5年が経過し地震による宅地・私道被災の復旧は概ね完了したことから、当該支援については令和3年度をもって事業廃止とする。今後は、令和2年7月豪雨災害により被災した宅地や私道について、同様の支援制度を行っていく。
備考・コメント		

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	3:安全・安心・快適に暮らせるまち
施策の大綱【政策】	1:災害に強く安全・安心なまちづくり
分野	16:防災
具体的な施策【施策】	38:土砂災害防止の促進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気象情報や河川の水位情報などに応じ、避難情報を的確に発令します。 ・ 避難確保計画の策定状況を調査し、計画を策定していない事業所などへ指導を行います。 ・ 土砂災害から市民を守るため、対策を進めます。 ・ 山間地の道路には、調査点検結果や地域要望をふまえ、効果的な取組みを行います。

1	担当課かい名	建設部 土木課
	現状（進捗状況）	本事業対象地域居住者に対し、資料の戸別配布を実施し周知を図った。 令和2年度では3件、令和3年度には2件の申請があり移転促進を図った。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	本事業への問い合わせが多く、今後は住宅再建が本格的に進むことが予想されることから、熊本県と協議し事業費の拡大を要望する必要がある。
	第2期計画の方向性	熊本県へ事業費の拡大を要望する。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	3:安全・安心・快適に暮らせるまち
施策の大綱【政策】	1:災害に強く安全・安心なまちづくり
分野	16:防災
具体的な施策【施策】	39:洪水・浸水防除の促進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練時などにおける、水防活動訓練や、消防団（水防団）へ土のうを配備するなど、継続した備えを行います。 ・河川において、護岸崩壊や漏水などを防止する河川改修を行います。 ・海岸堤防において、長寿命化計画を策定し、施設の更新を図るとともに、耐震改修事業に取り組みます。 ・浸水被害の著しい地区について、雨水排水整備を早期に行うとともに、施設の老朽化に伴う、耐震対策・長寿命化のための改築工事を行い、被害の軽減に努めます。

1	担当課かい名	農林水産部_農地整備課
	現状（進捗状況）	高潮や高波等から農地や家屋・学校・道路等の重要インフラを守る海岸堤防について、国・県事業による耐震化等の整備を推進した。特に、昭和海岸及び郡築海岸については、多額の費用と高度な技術力を要するため、農林水産省に対し強く要望を行ってきた結果、国直轄事業による施工が決定し事業着手となった。市が管理する15の排水機場について、適切な維持管理と突発修繕への早期対応等を行うことにより、農地及び背後住宅地等の浸水被害の防止を図った。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	本市には、国・県事業で造成された25の排水機場があるが、20年以上経過し老朽化の進んだ排水機場も多く、こうした排水機場の更新が課題である。
	第2期計画の方向性	海岸堤防等海岸保全施設の整備と老朽化した排水機場の更新について、滞りない事業の進捗と予算の確保を国・県に対し強く要望していく。また、老朽化した排水機場については、適切な維持管理と修繕等により長寿命化を図っていく。
備考・コメント		

2	担当課かい名	建設部_土木課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> ・樋門樋管の管理では洪水時等に操作管理人に危険が生じないように、国土交通省と連携し、講習会で危険回避についての周知を行った。 ・地域の高齢化等により水路・河川の維持管理が行われていない箇所が多くなっているが、地元と協力し市は土砂の運搬・処分を支援し地元による維持管理を推進し、地域住民との協働を図ることにより事業費の削減に努めた。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	近年の集中豪雨により山間部の河川の被害が甚大となっている。適切な維持管理、災害に強い構造とする必要がある。
	第2期計画の方向性	適切な維持管理及び支援を行うため、地域住民との連携や固定概念に捉われない柔軟な対策が必要であり、その実施のための財源確保につとめる。
備考・コメント		

3	担当課かい名	建設部_下水道建設課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> ・八千把地区における浸水被害軽減のため、平成30年度から着工した「北部中央雨水調整池」は、令和3年7月に供用開始した。 ・老朽化が進む中央ポンプ場は平成29年から機器の更新等を進めており、令和4年度を目途に事業完了予定。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に計画策定した「下水道浸水被害軽減総合計画」により北部中央雨水調整池は供用開始したものの、全体計画上はその他に調整池4箇所、貯留管1箇所の計画があるため、今後の浸水状況を見極めながら整備について検討していく。 ・令和2年7月豪雨で一部浸水した植柳新町において浸水対策として「八の字ポンプ場（仮称）」の整備や近年老朽化が著しい野上ポンプ場（旧棟）の改築について検討する必要がある。 ・国は洪水や津波による下水道施設の浸水被害を防ぐため、令和3年度内に各自治体に耐水化計画を策定するよう通知を发出。今後は策定予定の「八代市耐水化計画」に沿って、早期に浸水対策を行う必要がある。
	第2期計画の方向性	・浸水被害の著しい地区については、今後も雨水排水整備を早期に行うとともに、老朽化対策や施設の耐震補強を引き続き推進していく。また、令和3年度に下水道施設を対象として策定予定の「八代市耐水化計画」に基づいて、下水道施設の浸水対策も行うこととする。
備考・コメント		

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	3:安全・安心・快適に暮らせるまち
施策の大綱【政策】	1:災害に強く安全・安心なまちづくり
分野	17:消防
具体的な施策【施策】	40:消防力の充実
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・経済団体・事業所への働きかけや、公務員の加入を促進することで消防団員の確保を図ります。 ・災害現場で活動する消防団員に必要な装備品や、資機材の整備を進め、消防団員の安全確保に努めるとともに、実践的な訓練を行い、意識と技術の向上を図ります。 ・消火柱の設置に偏らない計画的な消防水利の整備に努めます。 ・災害現場における活動や平常時の訓練・広報活動などにおいて、常備消防と消防団とのさらなる連携・強化を図ります。

1	担当課かい名	総務企画部_危機管理課
	現状（進捗状況）	経済団体会報に消防団募集チラシを折り込み、事業所等を通して消防団への加入促進や消防団活動（出動等に対し）への事業所の協力を図った。消防資機材については適切に更新し消防活動に支障がないよう整備した。消防本部と消防団で適切に訓練を行い連携強化に努めている。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響から各分団及び方面隊での訓練及び事業が開催できなかったことから、常備消防との連携不足が懸念される。消防施設において防火水槽等の整備や、消防施設の修繕を行っているが要望箇所に対し実施数が追いついていない。
	第2期計画の方向性	消防資機材の更新や消防団員育成事業等については、これまで通り適切に行う。消防団員の確保と消防水利及び消防施設修繕については、その状況把握に努め、団員数の増及び整備・修繕処理の全実施を目指し地域の安全安心を整える。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	3:安全・安心・快適に暮らせるまち
施策の大綱【政策】	1:災害に強く安全・安心なまちづくり
分野	18:危機管理
具体的な施策【施策】	41:危機管理指針・計画などの整備
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「八代市危機管理指針」に基づき、危機事態の発生を未然に防止し、発生した危機事態に対して迅速・的確に対応するため、現実に即したマニュアルへ随時更新します。 ・Jアラートによる情報伝達などについては、出前講座や防災講座などにより、意識啓発を図るとともに、総合防災訓練や住民参加型防災訓練などを通して意識の高揚を図ります。

1	担当課かい名	総務企画部_危機管理課
	現状（進捗状況）	防災会議及び国民保護協議会を開催し、地域防災計画及び国民保護計画を見直し適宜行った。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	令和2年7月豪雨検証において、新たに対応が必要な事項のうち、地域防災計画へ反映させるものについて調整が必要。
	第2期計画の方向性	災害対応の検証や、制度改正で生じた取組を速やかにマニュアル等へ反映させる。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	3:安全・安心・快適に暮らせるまち
施策の大綱【政策】	1:災害に強く安全・安心なまちづくり
分野	19:防犯
具体的な施策【施策】	42:防犯対策の推進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯イベント・防犯教室等により防犯意識を啓発・促進することで、安全で安心のまちづくりを推進する。 ・ 防犯協会連合会の自主防犯組織（防犯ボランティア）の登録者数の増強のため、その広報活動に協力する。

1	担当課かい名	市民環境部_市民活動政策課
	現状（進捗状況）	<p>犯罪の無い安全安心なまちづくりを目指し、関係団体と連携した防犯教室や防犯イベント、また「電話で『お金』詐欺」に関する注意喚起メールの配信や青パトによる防犯パトロール等を実施した。</p> <p>また、地域の防犯力向上のための自治会等で維持管理する防犯灯の設置に関する防犯灯設置補助事業の実施と、各支所（千丁、鏡、坂本、東陽）で管理する公設防犯灯の維持管理を実施した。</p>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「電話で『お金』詐欺」等の特殊詐欺から市民を守る取り組みの強化。 ・ 防犯協会連合会と連携した自主防犯組織（防犯ボランティア）の育成及び活動支援の充実。 ・ 犯罪被害者等支援や再犯の防止推進へ向けた体制整備が求められている。
	第2期計画の方向性	<p>犯罪の無い安全安心なまちづくりを目指し、引き続き関係機関・団体と連携した防犯活動を展開するとともに、防犯ボランティアの育成及び活動支援の充実を進める。</p> <p>また、夜間の犯罪を防ぐ防犯灯整備の設置補助事業を推進し、犯罪の起きにくい環境整備を引き続き促進するとともに、灯具のLED化による自治会等の維持管理面での負担軽減につなげる。</p>
備考・コメント		

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	3:安全・安心・快適に暮らせるまち
施策の大綱【政策】	1:災害に強く安全・安心なまちづくり
分野	20:消費者行政
具体的な施策【施策】	43:消費者意識啓発の推進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者啓発や消費者教育をさらに促進するために、市内の関係機関や各種団体との連携や情報共有を図ります。 ・地域での消費者（高齢者や障がい者など）被害の未然防止のため、地域における見守り体制の構築を検討します。

1	担当課かい名	市民環境部_市民活動政策課
	現状（進捗状況）	消費者啓発・消費者教育強化を目的に、市報・HP・チラシ・リーフレット・ラジオ等による情報提供、青少年期から高齢者まで幅広い年齢層に応じた出前講座の実施とともに、行政・警察・小中高の代表者・福祉関係機関・金融機関等で組織する消費生活懇談会を開催し、消費者トラブル等の情報を共有・連携し被害の防止に努めた。さらに、見守り体制の構築のために、消費者安全確保地域協議会の設置に向けて検討及び準備を行った。
	施策の進捗度	B（やや進捗が遅れている）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害は、年々、複雑・多様化しており、それぞれの年齢層に合わせた消費者教育・啓発をコロナ禍に対応した方法で行う必要がある。 ・高齢者や障がい者を狙った悪質な事案がますます増えており、地域における見守り体制の構築として消費者安全確保地域協議会の設置に向け引き続き検討及び準備が必要。
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・年代別に具体的なテーマを例示したチラシを作成するなど、複雑・多様化する消費者トラブル及びコロナ禍に対応した消費者啓発や消費者教育を行う。また、市内の関係機関や各種団体との連携、情報共有を継続して図る。 ・地域での消費者（高齢者や障がい者など）被害の未然防止のため、地域における見守り体制として、消費者安全確保地域協議会の設置を目指す。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	3:安全・安心・快適に暮らせるまち
施策の大綱【政策】	1:災害に強く安全・安心なまちづくり
分野	20:消費者行政
具体的な施策【施策】	44:消費生活相談の充実
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多重債務問題に関して、消費生活センターとの連携を図り、情報共有化を図ります。 ・消費生活センター相談員の研修参加を促し、相談対応に関するレベルアップを図ります。また、相談員の人材確保や人材の育成に努めるとともに、専従職員の配置なども検討します。

1	担当課かい名	市民環境部_市民活動政策課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> ・多重債務者の救済を目的に「多重債務問題庁内連絡会」を開催し、センターと庁内各課の連携と情報共有化を図った。 ・県の事業を活用し、消費生活相談員研修・消費生活行政職員研修に参加させ、レベルアップを図った。 ・消費生活センターに消費生活相談員4名及び市民相談室に行政相談員1名を確保し、研修等により人材育成に努めた。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員の人材育成及び確保が急務。また、交付を受けている熊本県消費者行政支援補助金は計画により活用年限が設定されているため、今後、自主財源の確保が必要となる。 ・市の各課担当窓口を利用する市民の中でも多重債務などによる生活困窮者が増加傾向にあり、庁内各担当課と消費生活センターの、より一層の連携と相談対応が必要。
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員の人材確保や人材の育成、自主財源の確保に努める。 ・消費者被害は、多重債務による生活困窮を含め、年々、複雑・多様化しており、相談員のレベルアップのための研修参加支援や各種情報の共有化による相談機能の充実を図るとともに、引き続き「多重債務問題庁内連絡会」を開催し、センターと庁内各課の連携と情報共有化を図る。
備考・コメント		

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	3 安全・安心・快適に暮らせるまち
施策の大綱【政策】	1 災害に強く安全・安心なまちづくり
分野	21 交通安全
具体的な施策【施策】	45 交通安全運動の推進
施策の内容	<p>・子どもと高齢者に対する交通安全対策は継続して実施するとともに、自動車運転者をはじめ、すべての市民に、市報などの広報に加え、新たな媒体を利用して、飲酒運転撲滅や危険運転防止などの啓発を図ります。</p>

1	担当課かい名	市民環境部_市民活動政策課
	現状（進捗状況）	交通事故の無い安全安心なまちづくりを目指し、関係団体と連携した交通安全教室や各種キャンペーンでの啓発活動等を実施した。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・交通指導員の高齢化に伴う成り手の確保。 ・令和2年度については、新型コロナウイルス感染症に伴い交通安全教育が実施出来なかった。
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故被害者を減少させるために、警察等関係機関をはじめ、交通指導員・交通安全教育指導員と連携した交通安全意識の啓発・高揚を図り、安全で安心なまちづくりを推進する。 ・令和3年度に策定した第11次交通安全計画を基本に各種交通安全に関する施策・取り組みを推進する。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	3 安全・安心・快適に暮らせるまち
施策の大綱【政策】	1 災害に強く安全・安心なまちづくり
分野	21 交通安全
具体的な施策【施策】	46 交通安全施設の整備
施策の内容	・今後も警察や教育関係機関、地域住民などとの連携を強化し、特に通学路の安全確保について重点的に取り組みます。

1	担当課かい名	市民環境部_市民活動政策課
	現状（進捗状況）	八代駅及び新八代駅周辺における路上駐輪の未然防止と利用者の利便性の確保を図るための駐輪場及び駐車場の管理業務を実施した。 なお八代宮周辺の路上駐車との未然防止と、中心市街地活性化に寄与する中央駐車場管理業務については、令和元年10月より新庁舎建設に係る公用車等市役所関係車両の駐車場として使用（業務時間外及び休日等は一般開放）しているため現在休止中である。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新八代駅東口駐車場については、新型コロナウイルス感染症の影響で一般駐車利用料が減収した。 ・駐車場路面舗装の劣化に伴う補修が必要である。 ・八代駅駐輪場については、年間約100台の放置車両対策が必要である。 ・中央駐車場については、新庁舎完成後の利用について検討が必要である。
	第2期計画の方向性	路上駐輪の未然防止と利用者の利便性の確保を図るための、利用しやすい各施設の維持管理を進める。
備考・コメント		

2	担当課かい名	建設部_土木課
	現状（進捗状況）	令和3年度は、昭和、日奈久、植柳、麦島、代陽、太田郷、龍峯、東陽、泉第八小学校において、学校、八代警察署、国及び県、八代市関係部署立会いのもと、通学路の合同点検を実施した。 本課においては、代陽小学校管内ヘラパーボールを設置した。また、日奈久小学校管内への外側線の設置を検討している。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	通学路における事故や未就学児の散歩コース等における事故も発生しているため、関係者との連携を密にしなが、より一層、合同点検の充実を図る必要がある。
	第2期計画の方向性	通学児童及び未就学児の安全性向上のため、交付金等、有利な財源の確保に努めるとともに、点検（要望）内容に対し、固定概念に捉われない柔軟な対策の検討が必要であり、実施のための財源確保に努める。
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		